

地下高速鉄道は、都市における基本的な社会資本であり、国民の日常生活に密接に関連した施設として、大都市における交通混雑の緩和、都市機能の維持・増進に寄与することから、その整備の必要性及び緊急性は極めて高い。このため、新線建設費、耐震対策工事費、浸水対策工事費及び大規模改良工事費の一部を補助し、地下高速鉄道の建設を促進する。

○補助の概要 (地下高速鉄道整備事業費補助)

- ・補助率……………補助対象建設費の35%
 - ・補助対象事業……新線建設、耐震対策工事、浸水対策工事
及び駅施設の大規模改良工事
- ※地方公共団体も同様の補助を実施。

- ・補助対象事業者……
 - ・公営地下鉄事業者
(札幌市、仙台市、東京都、横浜市、
名古屋市、京都市、神戸市、福岡市)
 - ・東京地下鉄（株）
 - ・準公営地下鉄事業者
(大阪市高速電気軌道(株)、関西高速鉄道(株))

○新線建設

- ・新線建設を推進

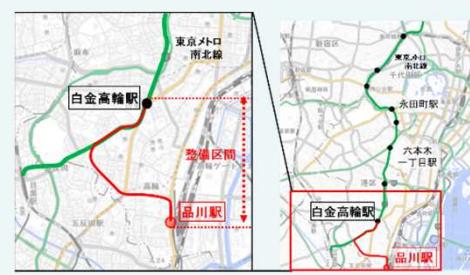
○有楽町線の延伸事業

- ・建設区間：豊洲～住吉(4.8km)
- ・開業予定：2030年代半ば



○南北線の延伸事業

- ・建設区間：品川～白金高輪(2.5km)
- ・開業予定：2030年代半ば



○なにわ筋線整備事業

- ・建設区間：
大阪～JR難波/南海新今宮(7.2km)
- ・開業予定：令和13年春

○浸水対策

- ・浸水被害が想定される地下駅等（出入口、トンネル等）について、止水板や防水ゲート等による浸水対策を推進。



○耐震対策

- ・地下鉄利用者の安全確保のため、
駅・高架橋等の耐震対策工事を
推進



○駅施設の大規模改良

- ・エレベーター等の整備により
バリアフリー化を推進。
- ・接触転落事故等に対応するため、
可動式ホーム柵の設置を推進。



- ・平面交差箇所の立体交差化、
ホーム・コンコースの拡充等に
より列車運行の円滑化を図る。

